

## 平成21年2月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年12月25日

上場会社名 株式会社キリン堂 上場取引所 東証一部・大証二部  
 コード番号 2660 URL <http://www.kirindo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺西 豊彦 TEL (06) 6394-0039  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業戦略室長 (氏名) 井村 登

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年2月期第3四半期の連結業績 (平成20年2月16日～平成20年11月15日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第3四半期	79,091	△0.1	1,085	△18.7	1,255	△16.7	334	△24.3
20年2月期第3四半期	79,132	50.0	1,334	120.8	1,507	70.0	441	6.8
20年2月期	106,098	—	2,321	—	2,530	—	804	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第3四半期	31	02	30	91
20年2月期第3四半期	49	68	49	67
20年2月期	89	44	86	35

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年2月期第3四半期	42,976		10,797		25.1		952	91
20年2月期第3四半期	44,683		9,283		19.8		993	74
20年2月期	42,758		9,686		22.6		1,010	64

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
21年2月期第3四半期	220		△1,304		△616		2,783	
20年2月期第3四半期	3,260		△1,069		499		5,425	
20年2月期	4,485		△1,714		△1,021		4,484	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
平成20年2月期	8	50	8	50	17	00
平成21年2月期(実績)	10	00	—		20	00
平成21年2月期(予想)	—		10	00		

3. 平成21年2月期の連結業績予想(平成20年2月16日～平成21年2月15日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	109,480	3.2	2,700	16.3	2,920	15.4	950	18.1	87	05

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループ(当社及び連結子会社)で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、世界的な金融不安の急速な広がりによる株価下落を背景に、企業収益が減少し、景気の減速感が強まっております。こうした中で、個人消費につきましても、物価上昇に伴う実質所得の減少や将来への不安感の高まりから弱含んでおります。

当社が属するドラッグストア業界では、上位企業による積極出店や価格競争が一層激しさを増し、改正薬事法の施行に伴う異業態の本格参入が予想される中、M&Aや資本・業務提携等の再編が一段と加速しております。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、関西地域ドミナント化のさらなる推進を目的に「2015年 売上高2,000億円・500店舗」体制を目指し、グループシナジーの追求による業績基盤の強化と利益率の向上に努めております。

当第 3 四半期におきましては、当期の課題であります「スーパードラッグストアの積極出店」と「既存店の活性化による収益率の改善」をポイントに進めてまいりました。

当上半期における業績は、連結子会社の店舗閉鎖等の影響もあり、売上高は前年同期比微減となったものの、ヘルス&ビューティケアの強化やメリハリを効かせた販促実施のほか、コストコントロールに努めた結果、増益を達成しました。

当下半期に入り、引き続き、当期課題をポイントに進めるべく、チラシ広告の回数をさらに減らし、お客様のニーズに応える品揃えとサービスの提供に鋭意取り組んでまいりましたが、個人消費が当初予想を上回る勢いで減退しており、その変化に対応しきれず、当第 3 四半期における当社グループの業績は、前年同期を下回る結果となりました。

以上により、当第 3 四半期の連結業績は、売上高790億91百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益10億85百万円（同18.7%減）、経常利益12億55百万円（前年同期比16.7%減）、四半期純利益は3億34百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

事業の種類別の業績は次のとおりであります。

小売事業におきましては、関西地域ドミナント化推進のもと、当社がスーパードラッグストアとして、平成20年5月のPH天理店（奈良県天理市）を含め大阪府5店舗、兵庫県2店舗、奈良県1店舗、滋賀県1店舗、三重県1店舗、石川県2店舗、香川県2店舗の計14店舗の出店を行いましたほか、小型店として、同年4月に表参道店（東京都渋谷区）、その他として、同年11月に「Cosme de lu-up江坂西店」（大阪府吹田市）を出店、合計16店舗の出店を行いました。さらに、既存店の活性化対策として、当社が、加古川栗津店（兵庫県加古川市）を含め13店舗、連結子会社が6店舗、合計19店舗の改装を実施いたしました。

また、当第 3 四半期までに、当社がスーパードラッグストア2店舗・小型店1店舗・その他1店舗の計4店舗、連結子会社がスーパードラッグストア3店舗・小型店1店舗の計4店舗、合計8店舗を閉店いたしました。

以上により、当第 3 四半期末の当社グループ店舗数は、以下のとおり（合計312店舗）となりました。

	㈱キリン堂	㈱ジェイドラッグ	㈱ニッショードラッグ	合計
スーパードラッグストア	174	2	79	255
（内、調剤薬局併設型）	(16)	(-)	(8)	(24)
小型店	49	1	3	53
（内、調剤薬局併設型）	(3)	(-)	(-)	(3)
（内、調剤薬局）	(16)	(-)	(-)	(16)
その他	1	-	-	1
FC店	3	-	-	3
合計	227	3	82	312

この結果、小売事業の売上高は、789億27百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

製造卸売事業におきましては、販売促進に注力いたしました結果、売上高は、1億64百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

なお、平成20年9月5日付「経営統合に向けた協議開始に関するお知らせ」で公表の㈱アライドハーツ・ホールディングスとの経営統合に向けた協議の結果は、同年12月17日に公表のとおり、同日開催の取締役会において、同社との経営統合の検討を中止することを決議いたしました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期末における総資産は429億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億17百万円増加いたしました。その主な要因は、たな卸資産の増加によるものであります。

負債の部につきましては、短期借入金等の減少等により前連結会計年度末に比べ8億94百万円減少し、321億78百万円となりました。

純資産の部につきましては、107億97百万円となり、前連結会計年度末96億86百万円と比較し、11億11百万円増加いたしました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ17億円減少し、27億83百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### 《営業活動によるキャッシュ・フロー》

営業活動の結果、得られた資金は2億20百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益8億71百万円、減価償却費7億72百万円、仕入債務の増加額6億63百万円、賞与引当金の増加額3億63百万円等の増加要因及び、たな卸資産の増加額15億52百万円、法人税等の支払額12億17百万円等の減少要因によるものであります。

#### 《投資活動によるキャッシュ・フロー》

投資活動の結果、使用した資金は13億4百万円となりました。これは、主に新規出店や改装等に伴う有形固定資産の取得による支出10億57百万円、貸付による支出3億22百万円、貸付金の回収による収入2億19百万円等によるものであります。

#### 《財務活動によるキャッシュ・フロー》

財務活動の結果、使用した資金は6億16百万円となりました。これは、主に新株予約権出資金相当額の預り金返済による支出10億円、短期及び長期借入金の収支による支出超過8億7百万円、株式の発行による収入9億93百万円等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期における新規出店につきましては19店舗を計画しており、当第3四半期終了時点で16店舗を出店済みであり、年度計画どおり進捗しております。

一方、平成21年2月期の連結業績見通しにつきましては、当第3四半期以降も、個人消費はさらに厳しい状況になると予想され、当社グループにとっても厳しい経営環境が想定されます。当社グループは、例年、年末商戦や風邪薬等の季節商材販売を中心として、第4四半期の業績動向が通期業績予想に対する進捗度に大きな影響を及ぼします。現時点におきましては、平成20年9月25日に開示した通期業績予想を据え置くことと致しますが、今後の業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示を行う予定であります。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

借地権処理していた土地賃借のために支出した一時金については、従来非償却資産として無形固定資産に計上し、退店時に損失処理することにしておりましたが、当中間連結会計期間より長期前払費用とした上で賃借期間により均等処理する方法に変更いたしました。この変更は、流通業界を取り巻く環境が大きく変化している中、競争激化に伴う店舗網の見直しによる積極的なスクラップ・アンド・ビルドの推進という変化に対応し、期間損益をより適正に表示し、かつ財政状態のより健全化を図るためのものであります。

この変更に伴い、従来の方と比べて、営業利益及び経常利益は8百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は52百万円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成21年2月期 第3四半期末)		増減		(参考) 前期末 (平成20年2月期末)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	5,481		2,357		△3,124		4,492	
2. 受取手形及び売掛金	972		1,066		94		1,028	
3. たな卸資産	13,315		14,322		1,006		12,770	
4. 繰延税金資産	414		391		△23		297	
5. その他	1,929		2,630		700		2,049	
流動資産合計	22,114	49.5	20,768	48.3	△1,346	△6.1	20,639	48.3
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	7,902		7,675		△227		7,542	
(2) その他	955		922		△32		852	
有形固定資産合計	8,858	19.8	8,598	20.0	△259	△2.9	8,395	19.6
2. 無形固定資産								
(1) のれん	3,767		3,441		△326		3,761	
(2) その他	244		27		△217		243	
無形固定資産合計	4,012	9.0	3,468	8.1	△543	△13.6	4,005	9.4
3. 投資その他の資産								
(1) 長期貸付金	3,172		3,128		△43		3,103	
(2) 繰延税金資産	910		1,014		104		947	
(3) 敷金保証金	4,154		4,230		75		4,114	
(4) その他	1,564		1,834		269		1,620	
貸倒引当金	△103		△66		37		△68	
投資その他の資産合計	9,698	21.7	10,141	23.6	443	4.6	9,717	22.7
固定資産合計	22,568	50.5	22,208	51.7	△360	△1.6	22,119	51.7
資産合計	44,683	100.0	42,976	100.0	△1,707	△3.8	42,758	100.0

科目	前年同四半期末 (平成20年 2 月期 第 3 四半期末)		当四半期末 (平成21年 2 月期 第 3 四半期末)		増減		(参考) 前期末 (平成20年 2 月期末)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	13,760		14,184		424		13,521	
2. 短期借入金	9,898		5,577		△4,321		6,768	
3. 未払法人税等	503		198		△304		781	
4. 賞与引当金	728		728		△0		364	
5. ポイント引当金	—		33		33		—	
6. その他	3,035		1,952		△1,083		2,490	
流動負債合計	27,927	62.5	22,675	52.8	△5,251	△18.8	23,926	55.9
II 固定負債								
1. 長期借入金	6,799		8,860		2,061		8,476	
2. 退職給付引当金	84		90		5		85	
3. その他	589		552		△37		583	
固定負債合計	7,473	16.7	9,502	22.1	2,029	27.2	9,145	21.4
負債合計	35,400	79.2	32,178	74.9	△3,222	△9.1	33,072	77.3
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	2,486	5.6	3,237	7.5	750	30.2	2,736	6.4
2. 資本剰余金	2,472	5.5	3,223	7.5	750	30.4	2,722	6.4
3. 利益剰余金	3,830	8.6	4,332	10.1	502	13.1	4,192	9.8
4. 自己株式	△0	△0.0	△0	△0.0	△0	—	△0	△0.0
株主資本合計	8,788	19.7	10,792	25.1	2,003	22.8	9,652	22.6
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価 差額金	39	0.1	5	0.0	△33	△85.7	31	0.1
2. 繰延ヘッジ損益	0	0.0	△0	△0.0	△0	—	0	0.0
評価・換算差額等合計	39	0.1	5	0.0	△33	△86.0	31	0.1
III 新株予約権	2	0.0	—	—	△2	—	2	0.0
IV 少数株主持分	452	1.0	—	—	△452	—	—	—
純資産合計	9,283	20.8	10,797	25.1	1,514	16.3	9,686	22.7
負債純資産合計	44,683	100.0	42,976	100.0	△1,707	△3.8	42,758	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年 2 月期 第 3 四半期)		当四半期 (平成21年 2 月期 第 3 四半期)		増減		(参考) 前期 (平成20年 2 月期)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
I 売上高	79,132	100.0	79,091	100.0	△41	△0.1	106,098	100.0
II 売上原価	58,424	73.8	58,417	73.9	△7	△0.0	78,137	73.6
売上総利益	20,707	26.2	20,673	26.1	△33	△0.2	27,960	26.4
III 販売費及び一般管理費	19,372	24.5	19,588	24.7	215	1.1	25,638	24.2
1. 販売促進費	1,220		1,245		24		1,599	
2. 報酬・給与及び手当	7,496		7,581		84		10,555	
3. 賞与引当金繰入額	726		726		△0		363	
4. 退職給付費用	67		109		42		90	
5. 役員退職慰労引当金繰入額	0		—		△0		0	
6. 福利厚生費	754		761		7		1,007	
7. 賃借料	4,170		4,163		△6		5,543	
8. 減価償却費	783		755		△28		1,068	
9. その他	4,152		4,244		92		5,410	
営業利益	1,334	1.7	1,085	1.4	△249	△18.7	2,321	2.2
IV 営業外収益	629	0.8	658	0.8	28	4.6	832	0.7
1. 受取利息	50		49		△1		67	
2. 受取情報処理料	276		293		17		374	
3. 転貸店舗等受取家賃	187		202		14		248	
4. その他	115		113		△1		141	
V 営業外費用	457	0.6	488	0.6	30	6.8	623	0.5
1. 支払利息	180		157		△22		237	
2. 転貸店舗等関連費用	243		287		44		335	
3. その他	34		43		9		49	
経常利益	1,507	1.9	1,255	1.6	△251	△16.7	2,530	2.4
VI 特別利益	30	0.1	2	0.0	△27	△90.3	46	0.0
1. 貸倒引当金戻入益	8		2		△6		9	
2. 預り保証金解約益	—		—		—		8	
3. 保険解約等差益	16		—		△16		26	
4. 固定資産売却益	—		0		0		—	
5. その他	5		0		△5		1	
VII 特別損失	214	0.3	386	0.5	172	80.7	504	0.4
1. 店舗閉鎖損失	104		38		△65		127	
2. 減損損失	70		272		202		297	
3. 過年度借地権償却	—		44		44		—	
4. その他	38		31		△7		79	

科目	前年同四半期 (平成20年2月期 第3四半期)		当四半期 (平成21年2月期 第3四半期)		増減		(参考) 前期 (平成20年2月期)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,324	1.7	871	1.1	△452	△34.2	2,071	2.0
法人税、住民税及び 事業税	801	1.0	680	0.9	△120	△15.0	1,100	1.1
法人税等調整額	43	0.1	△143	△0.2	△186	—	128	0.1
少数株主利益	38	0.0	—	—	△38	—	38	0.0
四半期(当期) 純利益	441	0.6	334	0.4	△107	△24.3	804	0.8



(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成20年2月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,324	871	2,071
減価償却費	794	772	1,085
減損損失	70	272	297
のれん償却額	310	320	417
貸倒引当金の減少額	△9	△2	△44
賞与引当金の増加額	410	363	46
ポイント引当金の増加額	—	33	—
退職給付引当金の増減額	△31	4	△30
役員退職慰労引当金の減少額	△91	—	△91
受取利息及び受取配当金	△51	△50	△68
支払利息	180	157	237
固定資産売却損	—	—	27
固定資産除却損	19	14	22
店舗閉鎖損失	70	4	80
保険解約等差益	△16	—	△26
売上債権の増加額	△47	△37	△103
たな卸資産の増減額	△266	△1,552	278
仕入債務の増加額	1,406	663	1,166
その他資産の増加額	△19	△128	△64
その他負債の増減額	93	△161	156
その他	△32	5	△19
小計	4,116	1,552	5,441
利息及び配当金の受取額	49	48	65
利息の支払額	△186	△163	△240
法人税等の支払額	△718	△1,217	△781
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,260	220	4,485

	前年同四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成20年2月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入れによる支出	△0	—	△0
定期預金の払戻しによる収入	—	15	10
有形固定資産の取得による支出	△871	△1,057	△1,026
有形固定資産の売却による収入	2	1	42
無形固定資産の取得による支出	△29	△0	△29
投資有価証券の取得による支出	△2	△10	△2
投資有価証券の売却による収入	5	0	5
連結子会社株式の追加取得による支出	△145	—	△698
非連結子会社設立による支出	△20	—	△20
貸付による支出	△203	△322	△247
貸付金の回収による収入	205	219	305
店舗敷金保証金の支出	△98	△173	△169
店舗敷金保証金の回収	54	109	99
その他投資等による支出	△75	△87	△81
その他投資等による収入	108	0	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,069	△1,304	△1,714
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入れによる収入	6,400	3,050	4,900
短期借入金の返済による支出	△5,540	△3,800	△7,600
長期借入れによる収入	1,800	3,500	4,700
長期借入金の返済による支出	△2,818	△3,557	△3,611
株式の発行による収入	—	993	496
新株予約権の取得による支出	—	△1	—
新株予約権出資金相当額の預りによる収入	1,000	500	1,000
新株予約権出資金相当額の預り金返済による支出	—	△1,000	△500
自己株式の取得による支出	—	△0	△0
配当金の支払額	△138	△183	△150
割賦代金の支払による支出	△203	△118	△255
財務活動によるキャッシュ・フロー	499	△616	△1,021
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	—	—
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	2,689	△1,700	1,748
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	2,735	4,484	2,735
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	5,425	2,783	4,484

(4) 販売実績

当四半期の販売実績を事業の種類別ごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別の名称	前年同四半期 (平成20年2月期第3四半期)		当四半期 (平成21年2月期第3四半期)		(参考) 前期 (平成20年2月期)
小売事業 (百万円)	78,984	50.1%	78,927	△0.1%	105,902
製造卸売事業 (百万円)	148	2.6%	164	10.8%	196
合計 (百万円)	79,132	50.0%	79,091	△0.1%	106,098

(注) 1. パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 事業の種類間の取引については相殺消去しております。

3. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

区分			前年同四半期 (平成20年2月期第3四半期)			当四半期 (平成21年2月期第3四半期)			(参考) 前期 (平成20年2月期)	
			金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 同四半期 増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 同四半期 増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
店舗 売上高	商品 売上高	医薬品	16,679	21.1	45.6	16,121	20.4	△3.3	22,493	21.2
		健康食品	3,411	4.3	4.9	3,304	4.2	△3.1	4,534	4.3
		化粧品	20,687	26.2	47.5	20,497	26.0	△0.9	27,789	26.3
		育児用品	3,639	4.6	44.6	3,416	4.3	△6.1	4,897	4.6
		雑貨等	31,090	39.4	67.1	31,638	40.1	1.8	41,444	39.1
	計	75,509	95.6	51.5	74,978	95.0	△0.7	101,158	95.5	
	調剤売上高	3,268	4.1	27.3	3,685	4.7	12.8	4,448	4.2	
小計			78,778	99.7	50.3	78,664	99.7	△0.1	105,606	99.7
その他			206	0.3	10.4	262	0.3	27.5	295	0.3
合計			78,984	100.0	50.1	78,927	100.0	△0.1	105,902	100.0

4. 上記店舗売上高における提出会社及び国内子会社の売上高構成比は次のとおりであります。

区分			前年同四半期 (平成20年2月期第3四半期)			当四半期 (平成21年2月期第3四半期)			(参考) 前期 (平成20年2月期)	
			金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 同四半期 増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 同四半期 増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
提出会社			56,423	71.6	7.6	58,332	74.2	3.4	76,594	72.5
国内子会社			22,354	28.4	—	20,332	25.8	△9.0	29,011	27.5
合計			78,778	100.0	50.3	78,664	100.0	△0.1	105,606	100.0